

第9回 鳳来北西部地域協議会 会議録（要約）

日 時	令和4年12月13日（火） 午後7時～午後9時
場 所	玖老勢コミュニティプラザ 1階 第1会議室
出席者	委員18名 事務局4名
傍聴人数	なし
次 第	<ol style="list-style-type: none"> 1 会長あいさつ 2 報告 地域計画の推進体制について 3 グループワーク 地域計画の推進体制について <ol style="list-style-type: none"> (1) 意見交換 (2) 情報共有 4 その他
<p>1 会長あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原田会長よりあいさつ ・議事に先立ち、会長から下記の委員を議事録署名人として指名。 【議事録署名人】 『名簿18番』村雲伸一委員 『名簿19番』門林勝國委員 <p>2 報告 地域計画の推進体制について</p> <p>○事務局より資料に沿って説明</p> <p>【現状について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行体制のイメージ図について説明 <p>【地域計画推進体制検討会で出た意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域協議会自体がよく分からないので分かりやすい組織にしたらどうか？ 例えば、地域の承認機関として位置づけなど。 ・人選については、地域での人選が難しいので地域協議会の委員数を減らした方がいい。委員の立候補制はどうか？3つの地区にこだわらずに鳳来北西部全体で人選してはどうか？ ・分科会は、地域協議会委員だけではなかなか意見が出ない。地域から要望が出る形になるのが理想。分科会からの事業提案を地域の団体に担ってもらってはどうか？ <p>【検討会の意見を反映させた地域協議会の在り方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役割として、地域の承認機関と位置付けとし、地域自治区予算の決定と地域活動交付金の審査に専念する。 <p>→地域協議会の役割を明確にし、理解度向上と委員の負担減を図る。</p>	

- ・地域協議会委員の人数は削減し、人選などの負担軽減を図る。
- ・委員の選出方法については、各地区からの選出、鳳来北西部全体からの選出、立候補制、世代ごとや宛て職での選出など、若者や女性などの声も反映できる方法を考える。

- ・分科会は廃止し、地域自治区予算の事業提案は地域の団体が担う。
→地域から地域協議会に提案することで、地域の声を反映させることができる。また、団体と地域の連携が深まり、地域活動の推進にもつながるのでは？

【各項目の検討事項（地域協議会）】

- ・地域計画推進体制検討会からの意見を反映した場合の委員選出方法やメンバー構成、委員数について意見をもらいたい。

【各項目の検討事項（分科会の廃止）】

- ・地域計画推進体制検討会からの意見を反映した場合に、どんな団体が事業提案を担うか？事業提案の流れや懸念事項などについて意見をもらいたい。

【事業提案のイメージ】

- ・資料記載のイメージ図について説明。
- ・イメージ①は地域、団体からの事業提案を地域協議会が判断し承認する。
- ・イメージ②は地域、団体からの要望を取りまとめるために地域計画推進部会（仮）を設置し、事業を立案し地域協議会へ提案する。地域計画推進体制検討会では、引き続き地域計画推進に向けた体制づくりについて協議していく。

【質疑応答】

（委員）

- ・地域協議会は承認機関でいいのかなと思う。

（委員）

- ・説明についておおよそ理解したが、具体的な部分が分かりにくい。

（委員）

- ・どんな形にしても難しいと思う。子育て分科会に子育て世代が入っていないという意見があったが、地域協議会委員の任期が2年なので、PTAや母の会の代表が協議会委員を務めるとなると任期年数が違うので難しいのではないかと？

（事務局）

- ・そういう部分も含めて、各分科会に分かれて意見交換をしてもらいたい。今後地域計画を推進する体制としてどうなるのが理想かを話していただきたい。

3 グループワーク

地域計画の推進体制について

(1) 意見交換

各分科会ごとに意見交換を実施。

(2) 情報共有

グループワークの内容について、各分科会ごとに報告

【地域振興分科会（原田分科会長）】

- ・イメージ図2の形で進めばいいという意見があった。
- ・地域協議会委員の選出方法、メンバー構成、人数については全体をみながら考えるべきで、全体の役割分担を見極めながら具体的に考えるべき。
- ・地域協議会の委員数は少ない方がスムーズだと思う。地域協議会に区長は必要。
- ・分科会を廃止するのであれば計画推進部会を立ち上げる。その人数は余り多くない方がよい。部会のメンバーには地域活動交付金団体も加える。
- ・地域協議会だよりは、できるだけ簡単な内容にしないと見てもらえない。

【子育て分科会（名倉分科会長）】

- ・PTA、こども園、消防団など既存の組織を活かして計画推進部会を立ち上げ、夢のある要望などを話してもらい、代表が取りまとめて地域協議会に提案してもらう。
- ・計画推進部会の話し合いは、固くならない雰囲気大切にしていって進めていく。
- ・地域協議会の人数は、3人×3地区の9人で良いと思う。
- ・子育て世代は対象となる人が絞られるので、話をまとめやすい。

【生き生き分科会（村雲分科会長）】

- ・各地区からの地域協議会委員の選出は現状どおり7人×3地区でいいと思う。
- ・各地区で委員選出方法が決められているので、それを見直すのは難しい。
- ・地域協議会委員数は少なくすれば良いというものでもない。
- ・分科会については、地区ごとに悩みや課題が違っているので、分科会委員が地域に向いて直接声を吸い上げ、地域自治区予算としてまとめていけば良い。
- ・全体的にはイメージ図2が良いのではとの意見もあった。

（事務局）

- ・今回の意見も踏まえ、地域計画推進体制検討会で共有し、引き続き検討していく。

4 その他

(1) 今後の日程について

【第10回地域協議会】

令和5年1月17日（火）午後7時から

【第11回地域協議会】

令和5年2月14日（火）午後7時から

【第12回地域協議会（地域活動交付金事業採択審査会）】

令和5年2月25日（土）午前9時から（予定）

(2) 令和5年度地域協議会委員の選出について

各地区長宛てに委員選出依頼を配布した。委員の選出については、地区長を中心に他の委員も協力してほしい。

(3) 地域公共交通意見交換会について

12月23日（金）に公共交通対策室主催で開催されるため、興味のある委員は参加してもらいたい。

参加希望：森下委員、田中(宗)委員、村雲委員

菅沼事務所長のあいさつにより終了（午後9時）